

丘の上の白いまちに 全国から熱い視線！

アート亀山2010 10月31日(日)~11月7日(日) 亀山市東町商店街



全国から60組の応募がありました

市民の手作りによるアートイベント「アート亀山2010」がこの秋、開催されます。主催は「アートによる街づくりを考える会」。

今年で、3年目を迎えるこのイベント。もともとは、亀山市東町商店街の白い街並に惹かれた作家さんたちが、この街を美術館に見立てて作品を展示したらどうだろう、という発想から「アート亀山」は動き始めました。街の活性化はもちろんのこと、市民の方々にもアートを気軽に楽しんで頂きたいという想いでいっぱいです。そして、今年は、全国から若いアーティストをコンペという形で募集したところ、60組近くの応募がありました。みなさん、作品の発表の場を求めているというのが伝わってくるこのコンペ

で、最終的に37組の参加者を選出。三重県立美術館の館長さんにも審査委員に加わっていただきました。更には、三重にゆかりのある作家25名も展示に参加予定です。

さまざまな現代アートを展示予定

絵画・グラフィック・写真・映像・音楽・建築・プロダクト・パフォーマンス・インスタレーションなど、現代を代表するアートのすべてが集結します。例えば、東京から参加の上岡雄貴さん(26)は「干物」というタイトルで洗濯物に似た人間の形をした布を商店街にぶら下げるといふ展示をします。また、名古屋から参加の長瀬暁人さん(23)は商店街の白いアーケードに魅力を感じて頂き、アーケードから白いリボンを一区間二区間とつるしていくというインパクトの大きい展示に挑みます。そして、京都から参加の鈴木孝平さん(20)は映像作品を上映。亀山ローソクからヒントを得て、ローソクでできた白いスクリーンに映像を投影しながら、火を灯し、スクリーンが融けていき、映像も消えていくというなんとも、はかない、でも今までに体験したことのない幻想的な映像の上映会を企画しています。このように個々で参加の作家さんもいれば、名古屋芸術大学の写真部のように30名あまりでの参加をしてくださるころもあります。街中に亀山で撮影された亀山の「今」が表現された写真を展示の予定です。

街中が美術館に！

今回の「アート亀山2010」では街中が美術館となります。非日常的空間を楽しんで頂きながら、全国から集まった作家さんとの交流も楽しんで、アートを生活の一部のように考えてもらえると嬉しく思います。ここから羽ばたくようなアーティストがいるのかも、そんなことも考えながら、ワクワクドキドキの1週間。街の皆様、商店街の皆様、作家の皆様のご協力があるこのイベントです。どうぞ、よろしくお願いいたします。スタッフ一同、皆様のご来場お待ちしております。

ではでは、「アート亀山2010」でお会いしましょう。

(水野裕也)



かめやまエコーへの横断橋
今年の「アート亀山2010」ではどのように彩られるでしょうか。



市民交流の日 レポート 7月21日(水) 19:30～21:30 市民協働センター「みらい」

7月のテーマ：豊かな亀山の自然とは！

報告：県を通して国に要望してきた鉱区禁止区域の設定が要望どおり認められた。
これにより市の半分の区域は鉱石の採掘から守られることになった。

自然破壊について

- ・特に森の荒廃は、管理不足が原因である。もっと手入れが必要である。
- ・昔は、生活排水を川に流していたので自然破壊につながっていたが、下水道の整備で解決した。
- ・自然の破壊は気づいた時はすでに手遅れである。
- ・数年前の鉱区禁止署名運動も山肌が削られていたので反対が盛り上がった。
- ・今は、新名神の排気ガスが心配である。
- ・亀山はゴルフ場が多い。もう少し減らせないだろうか。
- ・建物や駐車場をつくるために森林を伐採してしまうのが現実。
- ・今よりきれいだった亀山の自然が戻るよう、みんなで自然を保護していく必要がある。

豊かな自然について

- ・亀山市は山や川がきれいなので、キャンプが楽しめる場所である。
- ・自然の豊かさと心の豊かさは相関関係にある。豊かな自然の中で育った子どもは心も豊かであると思う。
- ・水の透明度が高く、川がきれいである。
- ・このまちは植物の種類が多くて、空気がきれいである。
- ・田畑が多く景観が美しい。
- ・星空がきれいで、坂下の天文台である童夢（どうむ）で星の観測を楽しめる。

自然の怖さについて

- ・土砂崩れの心配がある。
- ・鹿、いのしし、へび、蜂が多い。だから、事故や怪我をする可能性が高い。

その他

- ・自然保護のために自由度と制限の線引きについて考えるチャンスだ。

子どもに自然保護についてどう伝えていくか

- ・小さな怪我を何度しても、大きな怪我を防げたら良い。
- ・川で転落事故が起きた後、看板が立った。その看板に「よい子は川で遊ばない」と書かれている。これはおかしい。
- ・川は安全なところ。安全に遊べるという事を子どもたちに経験させなくてはならないと思う。
- ・ゲームばかりで遊んでいるのではなく、外で遊んでもらい自然のありがたさを感じてもらいたい。
- ・何もせずにいつまでも美しい自然があると思わないでほしい。



この集まりは、毎月21日に（土日、祝日関係なく）19時30分から21時30分に「みらい」で開催しています。申し込み無しで、誰でも自由に参加できます。聞くだけの人も大歓迎です！ぜひ、一度お越しください。

9月21日(火)のテーマ：終活（人生の最期をいかに生きるか）

19時30分～21時30分です。

どなたでも自由に気軽に参加できます。あなたの想いをお話してください。

～ 輪を広げましょう！（^o^）～



9/15

ぼっかぼかの会座談会 “成年後見制度について”

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方々は、不動産や預貯金などの財産を管理したり、介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要があるため、自分でこれらのことをするのが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害にあう恐れもあります。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援するのが成年後見制度です。

この制度について具体的に説明をいただき、座談会形式で参加者の質問に答えていただきます。

と き：9月15日(水) 10時～12時

ところ：亀山市総合保健福祉センター 研修室

講師：障害者総合相談支援センター“あい”センター長 南川久美子氏

参加費：無料

定員：20名(先着順)

申込先：ぼっかぼかの会 TEL、FAX 83-4956 (浜野)



9/18

第8回「亀山うたごえ喫茶」開催



昔の唱歌をはじめ、ラジオ歌謡だった懐かしい曲をみんなで合唱しませんか!? 上手も下手もありません。みなさんお誘いあわせのうえ、特設広場に集まってください!お待ちしております。

と き：9月18日(土) 13時30分～15時

ところ：亀山市文化会館2階ひろば(オハイオ)

伴奏：亀山ハーモニカクラブ「アンダンテ」

参加費：無料

主催：亀山うたごえ喫茶愛好会

問合せ先：090-1506-8569(岩間)

9/26

市総合防災訓練でケータイ用非常充電器の製作をします

携帯電話の基地局は震度7でも耐えるのに皆さんの携帯電話は電池が切れたら役にたちません。実際に、中越地震ではこのようなことが問題になりました。

9月26日の昼生小学校での総合防災訓練で、車のバッテリーから一日100台の携帯電話が充電できる非常用充電器を小学生5-6年生と製作することになりました。完成後は地域の自治会に贈呈します。

この事業は、昨年から市民と行政の協働で行っています。技術指導は、亀山おもちゃの病院など市民グループがボランティアでしています。

問合せ先：防災減災チャレンジャーの会 TEL 090-8550-8318(伊藤幸一)



昨年秋の加太小学校での製作を終えて

11/13

「めざそうバリフタウン全国大会 in 亀山」プレ大会にむけて



バリフタウンとは、バリアフリーのまちをめざそうと新しく作った言葉です。来年秋、車椅子レクダンス普及会の全国大会が亀山で開催するのに備え、11月13日(土)には西野公園体育館でプレ大会が開かれます。基調講演として、鳥羽から伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの野口あゆみ氏による、「バリフタウンへの想い」を語っていただきます。その後、車椅子レクダンスの踊りや、劇団KAMEによるミュージカル「白鳥伝説」、車椅子社交ダンスと新曲指導を行います。また、この大会のためのオリジナル曲「バリフタウン賛歌」を車椅子用での振付けで踊ります。フィナーレでは、灯踊り保存会の皆様のリードで全員輪になって灯踊りを楽しみます。この大会は、その名前の通りあらゆるバリアを越えるイベントを目指しています。亀山市と周辺の福祉関係の団体、個人の方々もたくさん参加予定です。詳細は次号市民活動ニュース10月号で記載します。

問合せ先：「めざそうバリフタウン全国大会 in 亀山」実行委員会 TEL 090-4265-2047(渡邊)



あのひと、このひと

このコーナーは、市民活動団体などで活動している方に、活動を始めたきっかけや活動の内容、今後の展開、これから活動を始める方へのアドバイスなどを率直なことばで語っていただきます。

やつふさ

今日は、『八房流南京玉すだれ』の大橋たつ子さんです。

退職後の健康づくりのために何かはじめたいなと思っていたところ、南京玉すだれに出会いました。八房流南京玉すだれは、声を出し(口上)手先を動かす(玉すだれで形をつくり身体全体でリズムをとる)という身体の動きがあるので「これだ!」と思い、津のカルチャーセンターで練習を始めて5年目になります。最近、市民協働センターで月1～2回練習をしています。

八房流南京玉すだれは、ただ形をつくるだけではありません。いかにきれいに見せるか、見せた後の戻し方など一つ一つに意味があり、奥深いものを感じています。

八房流南京玉すだれを練習している方は、全国で約3000人、県内では約40人がみえ、10代の子どもさんからお歳を重ねた方までいろいろな年代の方がいらっしゃいます。

毎年一回は海外での公演に参加しており、今年上海万博で公演しました。

国内では、神戸まつりや、赤穂義士祭、明治神宮表参道に、県内では津祭りや、おかげ横丁などでパレードやステージに出演し、お声がかかれば子どもさんからお歳を重ねた方まで、その時々、その場にあったバージョンで参加をさせてもらっています。

仲間の輪を広げて南京玉すだれの楽しさを一人でも多くの人に知ってもらいたいと思います。

9月14日(火)午後1:30～3:00まで市民協働センターみらいで本番での衣装も付けておけいこの様子を公開します。興味のある方、覚えてみたいと思う方、ぜひ見に来てください。

問合せ先 82-4631(大橋)



上海万博でも披露しました。



7-8月イベントからのレポート

StarFsta2010 親子でわいわい星まつり

8月7日、「StarFsta2010親子でわいわい星まつり」がおかげ様で8月7日無事に終了いたしました。当日のお天気は曇り気味で、かすかに雲の間から見えた天体の観望会となり、残念でしたが、イベントとその片付け修了後に雨が降ってきて助かりました。その後の数日も雨模様でしたので、土曜日にできて良かったと思います。

観望会以外は問題なく進み、コンサート会場は用意した椅子が足りなくなり、立ち見のお客さんで壁際までいっぱいになるほどの大盛況でした。(^^)

コンサートもいい感じに盛り上がり、用意してあったアンコール後に飛び入りアンコール要望なども出て、二度めのアンコールが出ていました。

用意した1000灯ほどのキャンドルは、火をつけ出した時は風に消されそうでしたが、訪れたお客さんも一緒に点火に協力してくださり、開会式までに全点火成功となりました。

大ホールで行うイベントとはまた違った、素朴で温かい雰囲気いっぱいのイベントだったと思います。来場者数は、約400人でした。(坂下星見の会 瀧本)

問合せ：亀山市教育委員会 生涯学習室 TEL 84-5057



映話ひととき会 「市民平和映画会」開催



8月7日、「映話ひととき会」は、立図書館企画展示ホールで開催の「戦争と平和の展示会」に協賛して「TOMORROW 明日(黒木和雄監督、1988年、105分)」を上映しました。21日には、関文化交流センターでアニメ「青い目の人形物語」と「象のいない動物園」を上映しました。映画を見て、“平和”の大切さ、ありがたさを実感しました。

広島・長崎そして終戦……。来夏も「市民平和映画会」を開催したいと思っています。

問合せ 090-1506-8569(岩間)

中級者向け パソコン教室を開催

8月17、18、19日にNPOパソコンサポート亀山の伊藤幸一氏を講師に迎え、中級者向けのパソコン教室が市民協働センター「みらい」で開催されました。この講座は、市民活動グループの情報発信に役立ててもらうために毎年この時期に開催しています。

情報発信の一つの手段として、ブログがあげられます。ブログはホームページを作成するよりも容易であり、製作費用もかからないという利点があります。そのようなブログを活用できるよう、参加者は基礎からデジカメで撮った写真をアップするといった応用までを学びました。

ボランティアでパソコンのインストラクターである若林氏と亀山市総合環境センターのホームページを作成している奥田氏にもお手伝い頂き、個々の質問にも迅速に答えていただきました。

問合せ：亀山市 市民部 市民相談協働室 TEL84-5008





9/11、12

まちかど博物館 in ロック・タウン



まちかど博物館は、個人の様々なコレクションや作品、地域の歴史と伝統産業、伝統文化が生み出した資料や作品を、まちなみの中で展示したミニ博物館です。

「まちかど博物館inロック・タウン」は、鈴鹿・亀山・津市のまちかど博物館が協働して展示会を開催し、市民の交流と地域の活性化に寄与することを目的としています。

今回は、3市のまちかど博物館で展示可能な品物をそれぞれ抽出し、展示を行います。みなさん、ぜひお越しください。

と き：9月11日(土)午前10時～午後6時

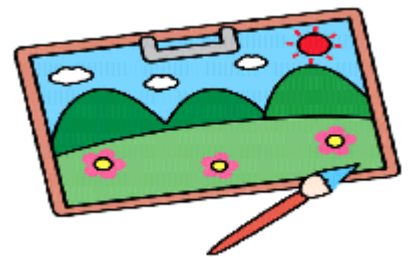
12日(日)午前10時～午後5時

ところ：ロック・タウン1階空き店舗(鈴鹿市)

主 催：まちかど博物館inロック・タウン実行委員会

後 援：鈴鹿・亀山まちかど博物館、三重のまんなかまちかど博物館、
三重県、鈴鹿市観光協会

問合せ：まちかど博物館inロックタウン実行委員会
TEL090-1728-8760(伊藤久嗣)



9/25

第7回アクティブトークを開催します

県内で野生動物との共生を考え、猿害対策のシステム作りや実践事業を行っているNPO法人“サルどこネット”の山腰由紀子氏をお招きして、活動を始めたきっかけや活動内容、成功談や苦労話などをお話しいただきます。

サルによる被害に困っている人や動物に感心のある人、地域に関心を持っている人は、ぜひお越しください。

と き：9月25日(土) 午後1時30分～3時30分

ところ：市民協働センター「みらい」1階多目的ホール

内 容：講演(演題：猿害防止は地域づくり“猿害防止方法を教えます”)

講 師：NPO法人サルどこネット 山腰由紀子氏

参加費：無料

問合せ：亀山市 市民部 市民相談協働室 TEL84-5008

市民協働センター「みらい」 TEL84-5800



市民活動ニュースに掲載する情報・お便りを募集しています

詳しくは、市民相談協働室(Tel 84-5008、Fax 82-1434、Email: shimin@city.kameyama.mie.jp)
又は、市民協働センター「みらい」(Tel 84-5800、Fax 84-5801、Email: mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp
東町一丁目8番7号)までご連絡ください。

編集作成：「きらめき亀山21」広報部(問合せ：亀山市市民部市民相談協働室〒519-0195三重県亀山市本丸町577番地)

市民活動ニュース配置場所：毎月21日市民交流の日・本庁ロビー・市民協働センター「みらい」・関支所・図書館・歴史博物館・医療センター・総合保健福祉センター「あいあい」・関町北部ふれあい交流センター・林業総合センター・鈴鹿馬子倶楽部・老人福祉センター・健康づくり関係センター・青少年研修センター・各地区コミュニティセンター・亀山郵便局・亀山駅前郵便局・亀山駅・百五銀行亀山支店・市民のショップねこの館・茶気茶気・オアシス館・鈴鹿県民センター・みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

ホームページ <http://shimin-kyoudo.sakura.ne.jp/kiyakame21/> 市民ネット <http://www.shimin-kyodo.sakura.ne.jp/shiminet/>
「きらめき亀山21」メーリングリストへの加入は「きらめき亀山21」HPより登録できます。